

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 11月号

2019年11月1日発行

事務局：大浜第一病院  
〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：鶴渕 太郎  
(沖縄協同病院)

\*\*\*\*\*

MSW ニュースは毎月1日、  
県医療ソーシャルワーカー協会ホームページに  
更新掲載されています。

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

\*\*\*\*\*

## CONTENTS

- 研修報告「第61回全日本病院学会 in 愛知」……………2
- 研修報告「第19回沖縄県慢性期医療協会研究発表会」……………3
- 研修報告「沖縄県回復期リハビリテーション病棟協会第7回研究大会」…3~4
- 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
(圏域別調整会議：宮古圏域)……………4~5
- 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
(圏域別調整会議：八重山圏域)……………5
- トピックス「沖縄タイムス 暮らし相談(医療)掲載記事」……………6
- 新入会員紹介……………7
- 部会からのお知らせ(研修部だより)……………7~8
- 10月理事運営会議録……………8~12
- 編集後記……………12

---

## 研修参加報告

### 「第 61 回 全日本病院学会 in 愛知」に参加して

2019 年 9 月 28 日～29 日

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院  
患者総合支援センター 医療福祉相談室 高澤 信哉

---

去った9月28・29日、愛知県名古屋市で行われていた全日本病院学会に参加と発表をしてきました。今回私は、「退院支援から入退院支援へ～患者総合支援センターの発足と退院支援看護師との協働～」と題して発表を行いました。

発表内容としては、当院の患者総合支援センターにおける入退院支援の取り組みや、今年度から始まった退院支援看護師との協働について、それらの実績と今後の課題についてです。私は学会発表自体が初めてで、その上発表場所がかなり大きかったので若干の緊張はありましたが、当院での入退院支援の実績を会場の皆さんにしっかりとお伝えできたと思います。

この発表に向けて、毎週のように業務後に時間を作ってくれ、一緒に考えてくれた相談室のメンバーには感謝の一言につきます。

また、自身の発表とは別に、多くの発表や講演に参加できました。全国規模の学会ならではの貴重な話を聞いたことも良かったし、他県のMSWの活動についても興味深い発表が多かったです。特に印象に残っているのは、普段の業務を生かした副業に取り組んでいるMSWの方の発表でした。

さらに、MSWではない他職種の発表が聞いたことは大変貴重に感じました。普段は、同じMSWや福祉関係の研修や学会への参加がほとんどであるため、新鮮な話だけでなく、MSWの業務にも活かせるような話も聞いたため、業務や患者へと還元していきたいです。



---

## 研修参加報告

### 「第19回沖縄県慢性期医療協会研究発表会」に参加して

2019年9月28日

牧港中央病院 地域連携室 中村海由

---

9月28日、宜野湾市民会館で開催された『第19回沖縄県慢性期医療協会研究発表会』について報告いたします。

特別講演は、在宅医療や尊厳死について積極的に活動されている長尾和宏先生による『人生会議ってなんだ？』で、最近よく耳にするACP／アドバンスケアプランニングや平穏死、リビングウィルについての内容でした。

特に印象に残ったことは、平穏死は枯れて死ぬこと、延命死は溺れて死ぬことを指しており、平穏死のほうが苦痛が少なく長生きすると言われており、現代の医療も変化してきているとのお話でした。

リビングウィルノートは、人生の最終段階での医療の選択を文書化することです。そのリビングウィルノートを使用している方は、日本は0.1%、アメリカでは41%です。日本では、自身の最期を3分の2は家族、3分の1は医師が決めており、実際に自分で決めた人は約3%しかありません。このことからわかるように先進国の中で日本は遅れています。

また、在宅医に繋げる前に病院が本人・家族と今後について人生会議を行わないと、本人が望まぬ最期を迎える可能性があるとして述べていました。認知症になったら？ 要介護1になったら？ 肺炎になったら？ どのタイミングで人生会議(ギアチェンジ)を行うか、本人が望まない最期を迎えないためには病院全体で取り組んでいく必要があると思いました。

本人の希望に添った生き方、死に方ができるように、リビングウィルノートと人生会議が必要なことが、さまざまな事例や動画を通して理解でき、家族や医療従事者としても考えさせられる講演でした。

また、研究発表会では、県内のMSWや多職種による慢性期医療特有の発表を拝聴でき、たくさんの刺激が得られました。来年はみなさんもぜひご参加していただき、新しい情報や刺激を得てみてはいかがでしょうか。

---

## 研修参加報告

### 「沖縄県回復期リハビリテーション病棟協会第7回研究大会」に参加して

2019年10月12日

沖縄リハビリテーションセンター病院 ソーシャルワーカー室 長堂由佳

---

回復期リハビリ病棟従事者に“求められるもの”や“質”を共に考えることを目的に、2019年10月

12日、浦添市でだこホールにて研究大会が開催されました。今回の大会は『回復期リハ病棟のあり方～実績指数から質を考える～』をテーマに、事例やアンケート調査など様々な現場の取り組みの報告が行われました。台風の影響で講師の宮井氏(全国回復期リハビリテーション病棟協会副会長)は参加できませんでしたが、一般演題では多くの専門職が参加され、質疑応答があり参加者の積極的な姿勢が見受けられました。(参加者 136名 Dr、セラピスト、Ns、介護福祉士、事務職、SW等)

印象的だったのは、大浜第二病院の介護福祉士が報告した『病棟訓練導入への取り組みを通して』です。病棟訓練導入にあたり、職員から『業務負担』だと反対意見もある中、マニュアル作成することで職員負担を軽減し、結果的に、患者の意欲向上や継続した取り組みへ繋がった事例でした。改めて、新しい支援方法を導入することの難しさやその状況に合った導入方法が必要であると感じました。

次に、宮里病院の看護師の報告では、「脳梗塞の夫を地元へ退院させたい」という妻の想いや、不安を軽減する為の対応についてフィンクモデルを用いて振り返った発表でした。フィンクモデルとは、心理的な危機の構造から援助者が何をすれば良いか示したもので、①衝撃の段階、②防衛的退行の段階、③承認の段階、④適応の段階があり、患者家族の心理状況を的確に判断し、その段階に合った対応の重要性について改めて考えさせられました。

今回の研究大会は、それぞれの病棟の実践を共有し、支援方法の在り方を振り返る上で有効でした。様々な医療機関の実践をモデルにしていくことは、気づきや学びを得ることができ、効率的効果的な支援へと繋がります。私はMSWとして、現場や患者の状況を的確に把握し、段階に合ったアドバイスや支援方法を提案できるよう心がけていきたいです。

---

## 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業

### 『入退院調整にかかる基本指針策定に向けた圏域別調整会議 (宮古圏域)』

#### 第1回 宮古圏域合同調整会議

2019年9月18日

宮古病院 地域連携室 奥平藤也

---

去る9月18日(水)、14時から15時30分まで、宮古島市役所3階会議室において、見出しの会議が開催されましたのでご報告いたします。

28人の参加予定者のうち、当日の出席者は6～7割程度でした。医師の出席はありませんでしたが、当圏域内の全3病院と1診療所からの連携担当者の出席と、看護師、ケアマネージャー、リハ専門職協会などの各専門職からの代表者が出席しました。

大まかな流れは、既実施された他圏域と同様で、主催である県からの本事業の説明、「入退院調整に係る基本指針策定」の流れ、今後のスケジュールについてについて説明を頂きました。

基本指針(案)についての意見交換では、他圏域からの報告と同様、文章表現に関することや、活用方法に関すること、マナー(心得)と事例との関連性などについての質問が出されましたが、それらのやりとりを通じて、自身のみならず出席した方の指針(案)への期待があると感じました。

本題から少しそれますが、会議後、さっそく部署内で会議の報告をいたしました。特に指針(案)のマナー部分については、普段の業務から感じるところがあるようで大きな反応があり、完成版ができれば院内掲示など周知していきたい、などの意見があがりました。指針(案)は、県が各職能団体と協議し合意によって作成されていくということで、各支援者が大きな後ろ盾を得て支援ができるツールだと思います。本ツールを通じて同じ意識のもとでクライアントを支援できるよう、完成したら活用していきたいと思います。

---

## 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業

### 『入退院調整に係る基本指針策定に向けた圏域別調整会議 (八重山圏域)』

#### 第1回 八重山圏域調整会議

2019年9月26日

かりゆし病院 地域連携室 野原 育子

---

去った、9月26日(木)石垣市役所にて沖縄県高齢者福祉介護課、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会の主催による沖縄県入退院支援連携デザイン事業「第1回 八重山圏域調整会議」が開催されました。石垣市地域包括支援センター、竹富町福祉支援課、各医療機関や介護施設(医師、看護師、MSW、PT)、ケアマネージャー協会、看護協会の代表者、有識者等、参加者は13名でした。

まず、沖縄県高齢者福祉介護課介護企画班の富山裕一郎氏より「入退院調整に係る基本方針策定の流れ」、「入退院調整に係る基本的なルール(基本方針案)」についての説明がありました。次に沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長の樋口美智子氏による基本指針(案)の中にある事例について説明があり、その後、意見交換がなされました。「最低限守りたいルール」について、分かりやすくコンパクトにまとめられているという意見も多いなか、本人・家族にわかりやすい表現に変えた方が良いところもあるのではないか、市民や関係者にどのように周知して、活用していくのか等、課題として挙がりました。また、事例に関しては理想的なものだが、現状はどうかと疑問の声もありました。

石垣市では、平成28年度より「石垣市入退院時情報共有ルール」が策定され、「情報共有シート」の運用が定着し、顔の見える良い関係ができつつあります。会議も和やかに進みました。今後は「情報共有シート」の内容の更新をどのようにしていくかが課題となっています。会議の参加者の中には、石垣市の在宅医療・介護連携推進協議会の委員も多く、今回の会議と混同し、本会議の目的がうまく伝わっていないような感じもありました。沖縄県と市町村との密な連携が望まれると感じました。

---

## 自主勉強会報告

---

\* 10月に「めだかの学校」「めだかのホームルーム」「めだかの放課後」「OGSV」の自主勉強会の開催ありませんでした。

---

## トピックス

### 「想いを聴き、想いをつなぐ」

沖縄タイムス暮らし相談(医療)  
2019年10月21日(月)掲載  
済  
県医療ソーシャルワーカー協会 香村 真範

---

私がリハビリ病棟で努めている時に大切にしていた言葉があります。「その人らしい生活とは何かをお聴きし、退院後の生活を常に気にかけて援助しよう(回復期リハビリテーション病棟協会ソーシャルワーカー10か条から抜粋)」です。

病院に入院する時や通院の際に、医師や看護師から過去の病歴やどのような症状に困っているかといったことを聞かれたことはありませんか？

私たち医療ソーシャルワーカーは、例えば「出身地は?」「どのようなお仕事をしてきましたか?」「収入は?」「家族構成やその中での役割」「趣味」等の生活歴を中心に聴かせていただきます。初めましての人にそのようなことを話すことはとても抵抗があると思います。

では、なぜこのようなことを伺うのか。病や障がい、介護を要する状態になると、少なからずその方や家族に生活の変化が生じます。家族関係や役割が変わったり、お仕事や経済面の変化もあるかもしれません。なによりこれからの“生活”がどのようなようになるのか不安も出てくるかもしれません。このようなことを一緒に考えさせて頂くにあたり、伺った考えや想い、これまで大切にしてきたこと、そしてこれから大切にしていきたいことを関わって下さる周囲の方々と共有しながら、その方が望む場所での生活へとつなぐことを支援しています。社会のシステムや制度が充実してきたとしても隙間はあります。その隙間を埋めていけるよう、温かい気持ちの連鎖をソーシャルワーカーは行っていきます。病気を治したい、リハビリを頑張りたい、終末期をこのように過ごしたい等、“その方らしい生活をつないでいく”、そのようなソーシャルワーカーでありたいと思います。

\* 2019年度、毎月第3月曜日の沖縄タイムスに、「暮らし相談(医療)」欄に記事が掲載されます。皆さんご覧になってください。

---

## 新入会員紹介

医療法人タピック 宮里病院 ソーシャルワーカー室 比嘉 未実

---

はじめまして。4月から宮里病院ソーシャルワーカー室に入職いたしました、比嘉未実と申します。入職して半年が経ちますが、まだまだ分からないことが多く、退院支援を行う中で悩むこともあり、職場の上司や先輩方に色々学ばせていただきながら日々の業務を行っています。また、宮里病院は精神科病棟もあり精神科の分野も学ばせていただきあらためて、福祉は幅広い分野であると実感しています。これから、まだまだ知識や経験不足ではありますが、患者様や家族の気持ちに寄り添った支援ができるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

---

## 新入会員紹介

与那原中央病院 医療相談室 新垣 慶

---

お疲れ様です。与那原中央病院の新垣慶と申します。協会のメンバーとしてご挨拶します。

与那原中央病院は、急性期・回復期・慢性期の病棟がありますが、私は現在、急性期の病棟を担当させていただいています。短い期間で患者様・ご家族に対して必要な支援を行っていきながら、まだまだ課題は多いと感じています。慌たしさや求められるスピードに慣れないところもありますが、何とか業務に励んでおります。

今後は、医療ソーシャルワーカー協会の研修や勉強会にも参加して行きたいと思いますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

---

## 11月研修部だより

### めだかの学校(おおむね経験年数3年未満)

テーマ	ケアマネジャーの役割と連携について (講師 おもととよみの杜 神里浩貴 氏)
日時	11月13日(水) 19:00
会場	大浜第二病院 2階レストラン
参加費	無料
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 謝敷

### 県慢性期協会SW部会・県 MSW 協会合同研修

テーマ	災害時における MSW の役割 ～院内外での活動について～
日時	12月6日(金) 15:00～
会場	おもろまちメディカルセンター
参加費	無料
問い合わせ	翔南病院 地域医療連携室 山里 TEL 930-3020

※先日の案内文書では開始時間が14:00～となっていたましたが15:00へ変更です！

### めだかのホームルーム(おおむね経験年数3年以上)

テーマ	事例検討
日時	11月6日(水) 19:00～
会場	嶺井第一病院
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	沖縄協同病院 地域連携課 松永

### めだかの放課後(経験年数5年以上)

テーマ	内容は調整中
日時	11月21日(木) 19:00～
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘

### OGSV

テーマ	11/23・24九州 MSW 研修会くまもと大会予演
日時	11月13日(水) 19:00～20:00
会場	調整中
参加費	無料
問い合わせ	沖縄国際大学 樋口

---

### 10月 理事運営会議録

開催日時	2019年10月21日(火)19:00～20:30
場所	県総合福祉センター
出席者	樋口会長(司会)、新垣副会長、當銘事務局長、高江洲、安慶名、長、山城、香村、秦(書記)
欠席者	又吉副会長、兼島、石郷岡、伊禮、小橋川、大久保



## **1. 各部報告**

### **〔研修部〕香村理事**

#### **1) 中堅者研修**

2020年2月8日(土)10時～17時「ISTT3回目」@那覇市内で調整中

詳細が調整つき次第広報予定

懇親会計画中(会費3千円)

場所は沖縄協同病院か大浜第一病院を検討中

#### **2) めだかの学校**

11/13(水)19時～

「ケアマネとの連携について(CMへ講師を依頼予定)」

場所:とよみの杜 2階レストラン

#### **3) めだかのホームルーム**

11/6(水)事例検討会 場所:嶺井第一病院

#### **4) めだかの放課後**

11月21日(木)19時～ 場所:中頭病院

#### **5) OGSV**

・11/13(水)19:00～20:00

「11/23・24九州MSW協会くまもと大会予演」

那覇市立(前濱)、沖縄協同(玉那覇)、大浜第一(嘉手納)、発表者へ連絡

場所:那覇市立病院>>沖縄協同か大浜第一へ場所移動か検討

・12/11(水)19:00～20:00@那覇市立:中堅者研修シラバスについて

沖縄協同か大浜第一へ場所移動か検討

#### **6) 慢性期協会MSW合同研修**

12/6(金)14:00～17:00(時間調整中)

「災害時におけるMSWの役割～院内外での活動について～」

講師:土肥尚浩氏(熊本県協会長)

場所:おもろまちメディカルセンター

懇親会:調整中

#### **7) 九州医療ソーシャルワーカー研修会参加報告**

10/5(土)研修部会議 宮崎開催 香村参加

11/22(金)13:30～中堅者研修

「ナラティブ・アプローチ入門 クライアント支援から後輩指導への活用術」

講師：駒沢大学 新井先生

### **〔広報部〕安慶名理事**

担当：沖縄共同病院 鶴淵さん

タイムス掲載記事 11月石郷岡、12月伊禮、1月長、2月大久保、3月小橋川

新入会員紹介(2名)

はいさいワーク:11月号掲載なし

12月号以降の研修報告掲載者検討中

10月・11月研修参加予定者・発表者へ記事依頼予定

### **〔社会活動部〕秦理事**

なし

## **2. 事務局**

- ・退会4名(北上中央病院・ちゅうざん病院・屋宜原病院・老健エメロードてだこ苑)
- ・新規新入会員登録は無し

## **3. 報告事項**

### **1) 入退院支援連携デザイン事業**

#### **① 老健との合同研修会日程決定**

- ・テーマ:「地域包括ケアシステムにおける老人保健施設の役割」
- ・日程:2020(令和2年)1月16日(木)14:00~17:00
- ・講師:高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本雅彦氏  
介護老人保健施設リゾートやわらぎ
- ・場所:県総合福祉センター(予定)

#### **② 今後のデザイン事業予定**

- 11/14(木)19:00 南部圏域調整会議 会場:県総合福祉センター
- 11/28(木)14:00 八重山圏域調整会議 会場:調整中
- 12/02(月)14:00 宮古圏域調整会議 会場:宮古島市役所
- 12/05(木)19:00 中部圏域調整会議 会場:中部地区医師会
- 12/09(月)15:00 北部圏域調整会議 会場:北部会館
- 01/16(木)14:00~ 老健協会との合同研修会 講師:高知県MSW協会会長:中本氏

### **2) その他(研修のお知らせ)**

- ①11/11(月)19:00~21:00 主催:社会福祉士会「HIVと高齢者」

講師:金崎慶大氏 場所:沖縄県総合福祉センター 会議室、申し込み締め切り:11/1

②11/12(火)14:00~16:00「急病センターとケアマネの意見交換会」

場所:那覇市役所 12階 第一会議室

③11/16(土)14:00~16:30

「うらっしー市民公開講座～知っ得！入院するとき・退院するとき～」

基調講演:樋口会長「地域で取り組む入退院支援」

場所:てだこホール 市民交流室

④11/19 社会福祉士実習指導講習会

受講推奨:実習受け入れ施設拡大とともに、自部署のスーパービジョン体制確立に有効

⑤11/17(日)沖縄緩和ケア学術研究会 10時~16時@琉大 詳細はホームページ参照

会員 1000円、非会員 2000円

⑥11/17(日)リカバリーパレード(依存症回復の祭典)13:00~16:30

場所:国際通りてんぷす館前広場

⑦11/22(金)かかりつけ医等心の健康対応力向上研修 19:00~21:00

場所:沖縄県医師会館 3階ホール

### 3) 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会

・09/21 樋口会長参加

テーマ1:キャリアラダー・モデルの検討

テーマ2:実習マニュアルについて>>既に作成されている県を参考に協議継続

テーマ3:業務指針の見直し

・「ソーシャルワーカー団体統合」について4団体で協議中

4)なごみ会(沖縄県医療保健連合)

・10/29(火)19:30~又吉副会長参加

## 4. 審議事項

1)01/18(土)多職種コンソーシアム実践研修会(リ専協主催)10:30~16:30

場所:総合福祉センター ゆいホール

参加者調整:MSW協会より6名>>新垣・當銘・伊禮・安慶名・山城・秦

## 2) 沖縄ソーシャルワーク学会・社会福祉公開セミナー

- ・02/22(土)10:00～16:30 沖縄大学3号館
- ・ソーシャルワーカー協議会交流会:2/22(土)の社会福祉セミナー昼食時に交流会予定
- ・参加費>>協会割り当て分あり会員に参加をよびかける

## 3) ハンセン病回復者の会 定期総会:樋口会長参加

- ・10/20(日) 14:00～16:00
- ・家族訴訟で補償確定
- ・県内相談窓口開設については、当事者の意向を踏まえ、4団体で協議継続

## 4) 第56回九州 MSW 協議会くまもと大会:11/23,24

- ・11/23(土)10:00～九州協議会  
取りまとめを沖縄県(前大会県)が担当:司会、記録、接待(お茶・菓子)
- ・会場:くまもと大会実行委員に確認中、研修部と合同開催
- ・協議事項の募集と開催案内文書を送付し、参加者名簿等作成
- ・当日各県持参資料(総会資料等)、配布資料等の確認
- ・予算決算書の作成、会費の口座振り込み依頼

## 5) 日本医療ソーシャルワーク学会

- ・2021年度、沖縄県で開催受け入れの打診あり
- ・過去の開催資料を取り寄せて協力体制検討する

## 6) 共催依頼

- ・那覇市在宅医療・介護連携支援センター
- ・在宅医療・介護スクラム塾→共催承認

## 7) 慢性期医療協会 MSW 部会研修等企画・予算について

- ・次年度から、県 MSW 協会の研修に位置づけ、共催する等して予算支出を検討
- ・支出にあたっては、MSW 協会への入会を案内する必要があるのではないか。



次回理事会 11月18日(火)18:30～ 司会:安慶名 書記:伊禮 連絡:秦

### ☆編集後記☆

地域祭りのエイサーの音が聞こえてくる。遠くでは微かな花火の音も。この時期毎年恒例のそれらを聞くと、そろそろ寒くなるなと思います。年を越える準備を早めに始めようかな――。